

自分の行動に責任を持てますか？

動物を飼うなら最後まで！

動物を飼うことは、その動物の一生に責任を持つことです。飼えなくなったからといって、遺棄する(捨てる)ことは犯罪です。

同じことは、自分の子どもや家族には決してできないということを考えてから飼い始めましょう。

無責任な餌付けは絶対ダメ！

「かわいい」「かわいそう」という一時的な感情で、無責任に餌付けを行うと犬猫の無秩序な繁殖を招き、結果的に尊い命の殺処分につながってしまいます。

餌付けをするなら最後まで面倒を見る覚悟を持ちましょう。



生まれてくる命に責任を持てないなら不妊去勢を

さくら耳は不妊手術済みのしるしです



猫は条件次第で、年に2～3回出産することができます。1回の出産で5匹程度生まれるため、途中で飼いきれなくなり遺棄されてしまうことが多くあります。

私たちの都合で大切な命が失われることのないように不妊去勢手術を受けさせてください。

市では不妊手術費用の助成を行っていますが、今年度は予算上限に達したため終了しました。来年度の予定などについては、問い合わせください。
【問】◎環境課Tel76-1511

古河市動物愛護協議会

市民と行政をつなぎ、動物愛護や適正な飼い方などの啓発ボランティアを行う、古河市動物愛護協議会の皆さんにお話を伺いました。



人と動物が共生できるまちを目指して

大好きな犬猫たちが、いつまでも飼い主と幸せに暮らしてもらいたいという思いで活動する、古河市動物愛護協議会の皆さん。適正な飼育がされていなかったり、飼いきれずに遺棄されたりして命を落とす犬猫たちがいなくなるように、チラシの配布やふれあい教室の開催などで啓発活動を行っています。

メンバーの皆さんが口をそろえて言うのは「犬猫を飼うなら絶対に不妊去勢手術をしてほしい」ということ。そこには、意図せず生まれてきて飼いきれなくなった子犬・猫たちが遺棄されてしまう現状を、幾度となく見てきたからこそ強い思いが込められています。

協議会の活動は、迷子捜索や里親支援も含め、多くの市民の皆さんの協力があってこそ成り立ちます。これから、この小さな活動を積み重ねて、一匹でも多くの命を救い、人と動物が共生できるまちにしたいと話します。



飯山由美さんと銀ちゃん

古河市動物愛護協議会の活動を以前からSNSで見えていたので、保護猫の譲渡には関心がありました。今年の6月に銀の飼い主を探しているという投稿を見た時に出会いを感じ、迷わず里親になることを決めました。

家に3匹の猫がいたので不安はありましたが、今では4匹が仲良く暮らしているので安心しています。保護猫たちが新たな飼い主と一緒に幸せに暮らすことができるように、私にできることで協力していきたいです。



香川裕英さんとしじみちゃん

1年半前、たまたまSNSで保護された子猫のしじみを見つけました。飼うならペットショップで探すのではなく保護猫にしたいと考えていたので、縁を感じて里親になることを決めました。

好奇心旺盛でやんちゃなしじみは、まるで手のかかる子どものようです。本当に目が離せませんが、いつも幸せをもらっています。「私たちの家に来てくれてありがとう」と心から伝えたいですね。

